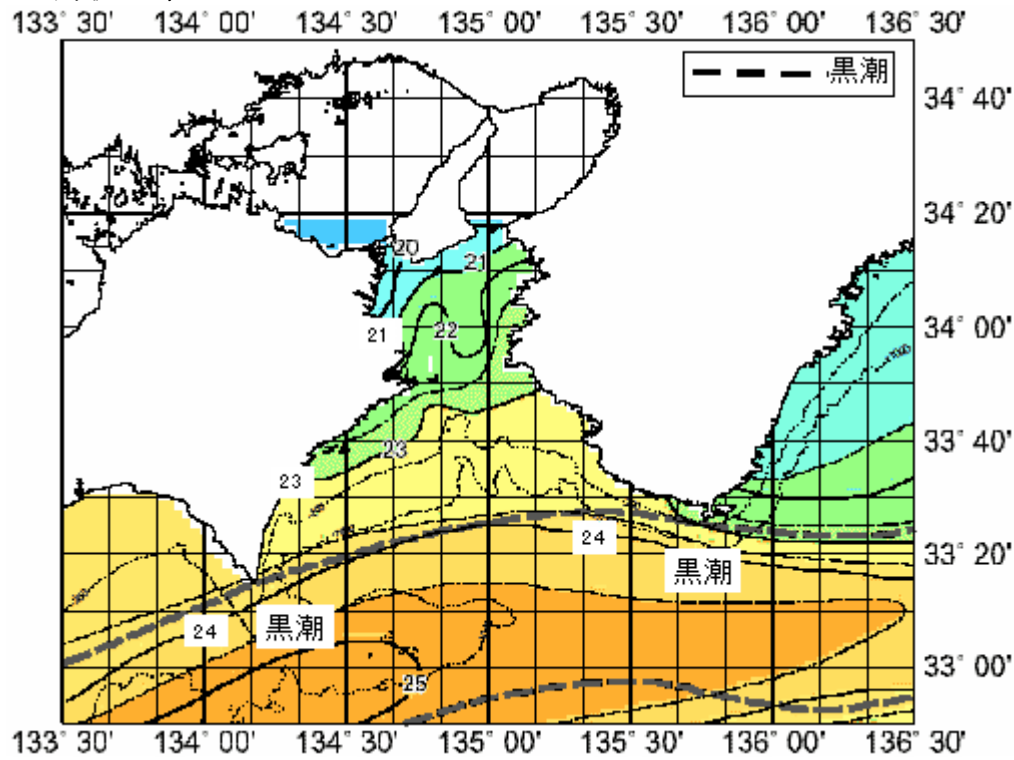


1. 海況の経過



海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H20.06.16)を示した。

黒潮は室戸岬沖、潮岬沖で接岸している。黒潮本流の表面水温は24～25℃台である。

表面水温は播磨灘が19℃台、紀伊水道内部が19～22℃台、外域が23～25℃台である。

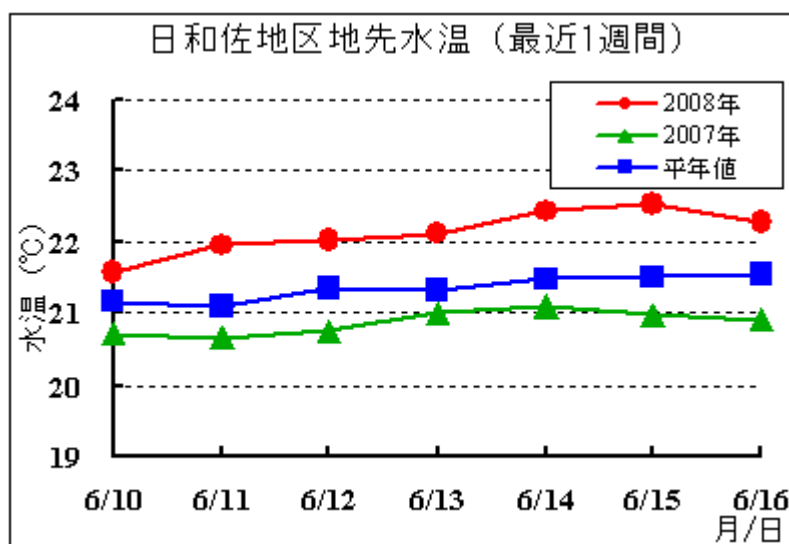
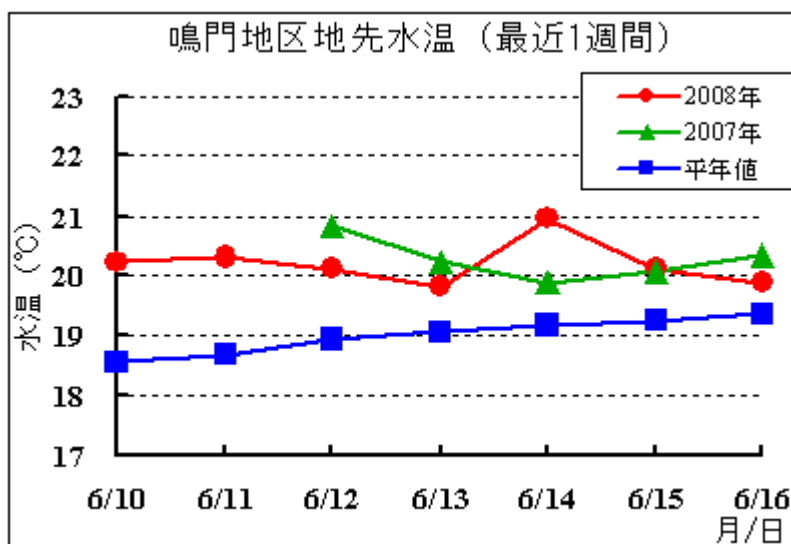
漁業調査船「とくしま」が6月6,9,11日に行った紀伊水道海区の海洋観測では、水温は表層～30m層が「やや高め」の17.9～20.4℃、50m層が「高め」の19.5℃であった。

紀伊水道海区観測結果 (観測日 2008/06/06,09,11)

水温	水深					塩分	水深				
	表層	10m	20m	30m	50m		表層	10m	20m	30m	50m
今年値	20.4	19.9	19.9	19.7	19.5	今年値	30.9	32.8	33.1	33.3	33.8
平年偏差	1.0	1.0	1.1	1.1	1.6	平年偏差	-1.7	-0.2	-0.3	-0.4	-0.4
前年偏差	1.7	1.6	1.7	1.6	1.9	前年偏差	-2.1	-0.3	-0.2	-0.3	-0.3

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「高め」17.6～20.1℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の20.8～21.3℃、牟岐地区は「やや高め」の21.2～22.0℃で推移した。



2. 漁況の経過

延縄:海部沿岸で、大主体にイトヨリが0.4トン(1日1隻当たり6kg)水揚げされた。

小型定置網:海部沿岸で、マイワシが1.0トン(同148kg)、マメ主体にマアジが3.7トン(同168kg)水揚げされた。

大型定置網:海部沿岸で、大・小主体にシイラが0.5トン(同75kg)、小主体にトビウオ類が0.5トン(同493kg)、大主体にマアジが1.3トン(同223kg)、小主体にマダイが0.2トン(同34kg)、大主体にヨコワが0.3トン(同79kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、中主体にキハダが0.5トン(同41kg)、紀伊水道で、特大主体にタチウオが0.9トン(同14kg)水揚げされた。

パッチ網:紀伊水道で、シラスが32.2トン(同325kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 06月07日～06月15日 県下6漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	イトヨリ	68	391	6	大主体
小型定置網		マイワシ	7	1,036	148	
		マアジ	22	3,706	168	マメ主体
大型定置網		シイラ	6	452	75	大・小主体
		トビウオ類	1	493	493	小主体
		マアジ	6	1,338	223	大主体
		マダイ	6	204	34	小主体
		ヨコワ	4	315	79	大主体
釣り		キハダ	13	539	41	中主体
		紀伊水道	タチウオ	61	858	14
パッチ網		シラス	99	32,175	325	

特異事項:

本県沿岸域において、アカクラゲ・ミズクラゲが多い。紀伊水道の一部では、触手に毒を持っているハナガサクラゲが確認されている。

週間予報:

黒潮は、室戸岬、潮岬で接岸で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「高め」の21℃台、日和佐地先で「高め」の22～23℃台で推移する見込み。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上